

かかりつけ医を もちましょ



病院にはそれぞれの役割があります。ベッド数が20以上ある医療機関を病院といいます。地域医療支援や特定機能病院など、特定の役割がある病院に医師の紹介状（診療情報提供書）なしでいくと、診療費とは別に初診料と特別料金が加算されます。さらに、軽症の人がたくさんかかることで、本当に高度な医療が必要な患者への時間も十分にとれないという結果に落ちる危険性も。医療機関には、その役割を知ってかかることが大切です。



自宅や職場の近くといった通いやすい場所の診療所や医院を「かかりつけ医」にもつと、自分や家族の健康管理の心強い味方になってくれます。日頃から健康管理をしてもらうことで健康状態を把握してもらえますし、医師との信頼関係も築きやすく、きめ細やかな対応が期待できます。また、専門的な検査や治療が必要な場合は、かかりつけ医が適切な医療機関を紹介してくれます。受診するときは『**まずはかかりつけ医**』が基本です。



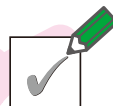
かかりつけ医のメリット

- 待ち時間が短く、診療時間は長い。
- 家の近くでかかれば、同じ医師に、家族ぐるみで診てもらえる。
- 自分や家族の病歴や体質を継続的に診ている。
- 適切な対応ができる。
- 高度な医療が必要となった場合は、紹介状（診療情報提供書）とともに、適した専門医や病院を紹介してもらえる。
- 定期健診などの結果を報告すれば、生活改善への適切なアドバイスを受けられる。

あなたやご家族の病気などについて親身になって診てくれるお医者さんのことです。



かかりつけ医の選び方チェック



- ☐ 自宅や職場に近いなど、通院に便利なおところにあるか
- ☐ 内科系（女性の場合は婦人科も）の開業医か
- ☐ 近所の人や受診経験者の評判がよいか
- ☐ 投薬や検査をやたらに多くしないか
- ☐ 病気や薬、治療方針などをわかりやすく説明してくれるか
- ☐ 疑問や不安に丁寧に答えてくれるか



患者の心得も必要です

診察しやすいよう、前開きの服で、化粧はしないでいきましょう。症状や服薬中の薬も、きちんと説明できるよう、メモしておきましょう。

